

開催予告  
COMING SOON

# インクルーシブスポーツであそぼう!!

年齢や障がいの有無、運動経験などに関係なく

“自分らしく”参加できます。親子やご家族、お友だち同士でも大歓迎です!!

2026

# 2.7

土

10:00 ~ 13:00

会場

浜松市中央区市野町 2620-1



## まぜこぜ

# スポーツ まるシエ

## 浜松市長上協働センター体育館

参加費

### 無料

文科省  
委託事業のため

申込

直接会場へ  
お越し  
ください

持ち物

室内用  
シューズ



### 内容(予定)



ぶつからない! 

ウォーキングフットボール

やわらかいボールで! 

跳ばないバレーボール



自分なりのドリブルでOK! 

ウォーキングバスケットボール

代走もあり! 

まぜこぜベースボール

※種目内容は変わる可能性があります。詳細はASOBI HP/SNSでお知らせします。



問合せ先 一般社団法人 ASOBI

✉ info@asobi11.com

ASOBI HP



詳しい内容は >>>

ASOBIのSNSを  
フォローしてね!



後援 浜松市・浜松市教育委員会・静岡県教育委員会・浜松市スポーツ協会

協力 長上協働センター

文部科学省 令和7年度 学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業 (他分野連携による新たな障害者の生涯学習のモデル・ネットワーク構築)

令和8年1月吉日

地域づくり・生涯学習に関わる関係者 各位

一般社団法人 ASOBI

代表理事 寺田美穂子

## 【文部科学省委託事業】障がい者の生涯学習機会の拡大促進事業 成果報告会のご案内

日頃より、それぞれのお立場で地域に関わり、活動されている皆さまに、心より敬意を表します。

このたび一般社団法人 ASOBI では、文部科学省より委託を受けて取り組んできた「障がい者の生涯学習機会の拡大促進事業」（令和7年度 学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業）の活動成果について、皆さまと共有する機会として、成果報告会を開催いたします。

本事業は、障がいの有無に関わらず人が交わる場をつくることで、「共にまなぶ」ことが地域の当たり前になることを目指してきました。「多様性+寛容性=受容力」という考え方のもと、生涯学習という視点を通じて、地域力の向上につながる実践として進めてきた取り組みです。

この機会が皆さまと共に未来を創るひとつの出会いの場となれば嬉しく思います。

分野や立場を問わず、どうぞお気軽にご参加いただければ幸いです。

### 開催概要

- 開催日 2026年2月7日（土）
- 時間 14：30～16：30
- 会場 浜松市長上協働センター内ホール（浜松市中央区市野町 2620-1/駐車場あり）

※同日 10：00～13：00 まで、同所体育館にて実践活動「まぜこぜスポーツまるシェ」を開催します。どなたでもご参加・ご見学いただけます。詳しくは別紙イベントチラシをご覧ください。

### 内容（予定）

- ASOBI 活動報告  
生涯学習機会の拡大に向けた取り組みと、その実践についてご報告します。
- 参加者の声を聴く  
障がいのある参加者、障がいのあるボランティアメンバー、障がいのないボランティアメンバー、近隣福祉事業所の職員の方々から、ASOBI に参加した感想や気づきをお聞きします。
- 研究発表  
聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 作業療学科 藤田さより先生から、本事業が共生社会の実現にもたらす効果についてお話していただきます。
- トークセッション  
他分野連携による生涯学習機会の地域実装に向けて、行政関係、福祉関係、企業関係者を交えて話し合います。

## 成果報告会の開催にあたって

### 障がいのある人の生涯学習の現状

生涯学習とは、年齢や立場、障がいの有無に関わらず、一人ひとりが人生をより豊かに生きるために行う、あらゆる学びや活動のことです。それは、学校教育や講座に限らず、地域での活動や人との関わり、「やってみたい」「関わってみたい」という気持ちから始まるものも含まれます。

障がいや何らかのハンディキャップは、全ての人に等しく関係する可能性のある事柄です。しかし現在、障がいを有する人の生涯学習の機会は、障がいのない人に比べて非常に少ないのが現状です。

途中で障がいを負った人は、これまでと180度変わってしまう世界に愕然とするといいます。また、生まれながらに障がいのある子の親は、無意識のうちに「自分たちが出掛けてよい場所」を探してしまうことがあります。こうした選択肢の差が生まれてしまう背景には、周囲の理解や、地域の受け入れの在り方が大きく関係していると考えられます。

### まぜこぜを当たり前にするということ

いま、皆さまの身近な活動のなかに、障がいを有する人はどれくらいいらっしゃるでしょうか。

もしかしたら、「自分もやってみたい」と思いながら、一步を踏み出せずにいるかもしれません。

「いっしょにやろう」と思っている、互いに距離を縮められずにいる場面もあるかもしれません。

わたしたち一般社団法人ASOBIは、地域づくり・生涯学習の拠点である協働センター・ふれあいセンター等を起点として、多様な人が集い、共に活動する取り組みを実装していきたいと考えています。

まずは一緒に活動をしてみる。そしてお互いのちがいを知り、受け止め合う経験を重ねていくこと。その積み重ねこそが、「まぜこぜ」を特別なものではなく、地域の当たり前にしていくと考えています。

### 地域力を向上させるまぜこぜ

障がいのある人の生涯学習の場を広げるということは、特定の人のためだけの取り組みではありません。それは、すべての人にとって有効な取り組みです。

「多様性+寛容性=受容力」という言葉があるように、多様な人が関わり合うなかで育まれる受容力は、地域のつながりや支え合いの力を育てていきます。それは、日常を温かいものにするだけでなく、災害や社会的な困難など、万が一のときに、ちがいを重ねて合わせて乗り越える地域の底力にもなるものです。

障がい者の生涯学習の機会拡大を通して、地域力の向上について考える時間となれば幸いです。

## ■ 出欠について（ご協力をお願い）

準備の参考とさせていただくため、成果報告会（2/7 14：30～）ご参加予定の方は以下までご連絡をお願いします（またはQRコードより入力）。

### ■ メールの場合

一般社団法人ASOBI [info@asobi11.com](mailto:info@asobi11.com)

・お名前 ・ご所属（任意）をお送りください。

### ■ QRコードから読み取り

